

育成指定選手規程（パラリンピック実施種目）

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（知的）強化委員会

（目的）

第1条 パラリンピック出場を目指す若い世代の選手の育成を目的とする。育成指定選手合宿への参加、国際大会への派遣などの機会を作るとともに、競技力向上だけでなく、日本代表選手としての心構え、競技規則やクラス分け、アンチ・ドーピング、スポーツ栄養、メンタル面等を教示し、将来の日本代表選手としての成長を図る。

（対象）

第2条 育成指定選手は、次の項目のすべてを満たす者とする。

- (1) 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（以下「当連盟」）登録者。
- (2) 当該年12月31日時点で、12歳以上20歳未満である者。
- (3) Virtus登録者及び速やかに登録の意思のある者。
また国際パラリンピック委員会（以下IPC）登録者及び速やかに登録の意思のある者。
※IPC登録については Virtus登録完了後でないで登録できない。
- (4) メディカルチェックで健康上の問題がなく、陸上競技を行なう上で心身共に適した状態であること。
- (5) トップアスリートとして、礼儀と規律を遵守し、日本を代表する選手としてふさわしく、別に定める育成指定選手行動規程を遵守し、育成指定選手等誓約書を提出した者。
またアンチ・ドーピング規程、クラシフィケーション規程を遵守し、いかなる時も暴力やハラスメント等スポーツ・インテグリティに反する行為を起こさない者。
- (6) 世界パラ陸上競技連盟（以下WPA）公認大会（エンドース含む）及び当連盟が主催、共催、後援する大会。その他日本陸上競技連盟（以下「JAAF」）公認大会で別表の育成指定選手標準記録を突破している者。全国障害者スポーツ大会で育成指定選手標準記録を突破している者。育成指定選手標準記録を突破した場合は、当該大会がJAAF公認大会であることを証明できる資料及び記録の証明書（リザルト）を添えること。
- (7) 保護者の同意書を提出し得る者。
- (8) 育成指定選手標準記録を突破していない場合においても、強化委員会が育成指定選手として指名した者。また、当連盟による選手発掘育成事業を完了したものについては、今後の育成を目的に特別育成指定選手として活動することを認める。

（育成指定選手の決定）

第3条 育成指定選手の決定等は次による。

(1) 育成指定選手の決定

- ① 前条（1～5）の基準に達している者から申請後、強化・育成指定選手選考会（以下「選考委員会」という。）で審査・決定する。
- ② 決定は毎年4月1日付で行い3月31日まで有効とする。前年1月1日～申請締切日の競技会での記録に基づいて、申請締切日までに申請があった者を審査し、4月1日付で決定する。但し、当該年（申請する年）の申請締切日から11月30日までに育成指定選手標準記録を突破した新たな選手については、追加の審査・決定は妨げない。ただし、申請は12月15日までとする。

③ 別途定める育成指定選手誓約書に署名し提出した者。

④ 指定された選手は、育成指定選手として登録される

(2) 強化指定選手の取り消し

① 育成指定選手には、メディカルチェックを必要に応じて実施するが、医学的問題により競技力が発揮できない場合は指定を取り消すことができる。

② アンチ・ドーピング規則違反が生じた場合は、いかなる理由があろうとも直ちに指定を取り消す。

③ 国際クラス分け規程違反の場合は指定を取り消すことができる。

④ 育成指定選手の遵守事項を守らなかった場合は指定を取り消すことができる。

(指定ランク)

第4条 指定ランクは次による。

1) 育成指定 U20	当該年において12歳以上20歳未満で、別表による育成 U20 育成指定記録を突破した者
2) 育成指定 U16	当該年において12歳以上16歳未満で、別表による育成 U16 育成指定記録を突破した者

注) 指定ランク条件の年齢は当該年度12月31日時点とする

(育成指定選手の遵守事項)

第5条 育成指定選手は下記のことを遵守しなければならない。遵守できない場合には書面にてその理由を申し出て了承されなければならない。

(1) 指定された合宿への参加。

(2) 指定された国内及び国際大会への参加

(3) 指定された本連盟行事への参加協力

(4) 練習状況の報告・出場大会成績の報告・オンライントレーニング・アプリ入力

(5) 健康など医学的状況変化の報告

(6) 当連盟、WPA、国際陸上競技連盟(WA)、(公財)日本陸上競技連盟(JAAF)などの規則、特に競技者資格規定などは準用されるので注意が必要である。

(7) 育成指定選手等行動規程および育成指定選手等誓約書(別途定める)

(8) 当連盟の行動規程(別途定める)

(費用負担)

第6条 費用負担は次による。

(1) 合宿や国際大会にかかる参加経費については、原則として強化事業費を充てるが、個人負担金が発生する。

(2) 当連盟が推薦し、日本パラリンピック委員会(以下「JPC」という。)が派遣する総合大会(パラリンピック、アジアパラ競技大会、アジアユース競技大会)の参加経費は、原則 JPC が負担するが、一部負担金を徴収する。

(選考委員会)

第7条 選考委員会の委員は下記のとおりとする。

- (1) 選考委員長は知的強化委員長とする。(不在の場合は強化責任者が代行する。)
- (2) 選考委員は、知的強化副委員長、パスウェイディレクターとトラック・フィールド担当者とする。
- (3) 委員の任期は当連盟役員等の任期を準用し、再任を妨げない。
- (4) 選考委員会はメール等で書類審査とする。委員長は提出された申請書を選考委員に送付し決済をとる。
- (5) T20 選抜リレーメンバーは強化委員会内にて選考する。

付則この規程は令和6(2024)年4月1日より実施、施行する。

令和7(2025)年2月6日一部改正